

南の風

—第8号—

学習発表展

11月11日(月)から11月22日(金)の期間、こども医療センター1階渡り廊下で学習発表展が開催されました。小学部、中学部、重心部門、藤が丘学級、芹が谷学級の児童生徒が授業で作成した作品を展示し、こども医療センターの方や通りかかった方が足を止めて作品を見ている様子がありました。見てくださる方々からは、「すごいね。」「かわいい。」「きれい。」など、様々な声があがっていました。作品を出展した児童生徒は、学習発表展の前を通ると少し恥ずかしいような、でも誇らしいような様子で自分の作品を見ていたり、友だちや保護者に紹介したりする姿がありました。

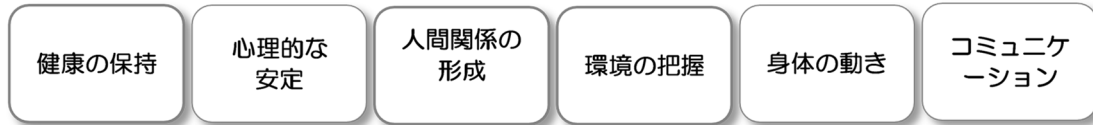
また今回は、いろいろな作品をゆっくりと見て欲しいという思いから、新しく「写真ラリー」という取り組みを行いました。掲示してある写真に写っている作品を探し、コメントシールを貼っていただくというものです。たくさんの方が足を止めて作品を探してくださり、シールは480枚も集まりました。そのことを児童・生徒に伝えると驚きの声が聞かれました。こんなに多くの方が見てくださったことは、子どもたちの励みになりました。これからも、温かい応援をよろしくお願いいたします。



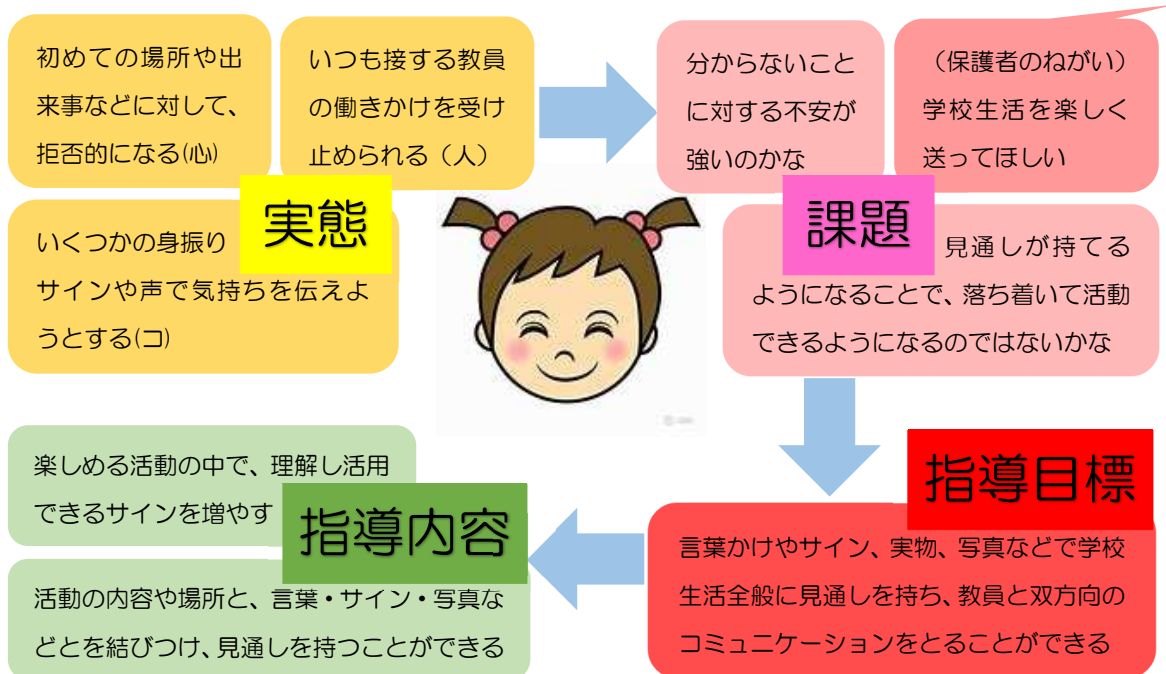
「自立活動」って何？

特別支援学校には、子どもたちが「障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服する」ため、「自立活動」という指導領域があります。本校重心部門の子どもたちは、この自立活動を中心とした学習に取り組んでいます。

自立活動は以下の 6 区分に分かれ、さらに 27 項目に分類されています。



今回の学習指導要領の改訂では、この区分に沿って児童生徒の実態を整理し、課題を抽出し、個別教育計画の目標を立て、具体的な指導内容を設定する「流れ図」が示されました。…とかた苦しく書くと、「何だか難しそう」と感じてしまいますよね。Aさんの事例で考えてみましょう（在籍しているお子さんの実態とは異なります）。



実際にはさらに細かい段階に分かれていて、どの項目が関連して目標や指導内容につながるのかが図で分かりやすく示せる仕組みになっています。

授業の時間だけでなく、日常生活も食事の時間も、重心部門の子どもたちにとっては「自立活動」の勉強をする場です。今ある力を十分に発揮しながら、少しずつ新しいことに挑戦していく子どもたちを、じっくりと応援していきたいと思います。

(文責 重心部門長 金澤園子)

1月の予定

- 8日 始業式、午前日課 20日 授業参観⑤、授業評価③
- 24日 ロボットプログラミング選手権 2019 (10:30~講堂)
- 31日 重心校外学習 (カップヌードルミュージアム)

横浜南養護学校 ホームページ↓↓↓

<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/y-minami-sh/> (※平成 31 年 4 月よりアドレスが変更になりました。)